

## 愛知東農業協同組合（JA愛知東）様

さまざまなネットワーク環境でも安定利用。国内製で高セキュリティのLiveOnが、会議のための無駄な移動時間を削減し業務を効率化。

利用目的	業種	社員規模
社内会議 授業・セミナー配信 社外との接続	公益法人・団体	100～500名



## 導入前の課題

- 会議のたびに発生する無駄な拠点間移動の削減
- さまざまな通信環境でも安定したWeb会議の開催

## LiveOnで解決!

- 会議のための移動が不要になり、遠隔での講演会でも活用
- 事前の綿密な調査・調整により新たな投資なしで安定したWeb会議が可能に

## 導入前の課題

## 会議のための拠点間の移動が負担に

JA愛知東（以下、当JA）は、中山間地域に位置し、拠点間の距離が離れている場合が多い。移動に1時間程度必要な拠点もあり移動時間が課題となっていた。例えばさまざまな単位で最低でも月に5回程度は各拠点の担当者が集合して会議を開催しており、さらに管理者向けの会議も月に3回程度あり、それらの会議のための移動だけでも負担が大きかった。

## 低帯域ネットワークでも安定したWeb会議の実現方法を模索

上記の移動の負担を軽減する目的もあり、コロナ禍前からWeb会議などに着目していた。しかし当JAには、数メガ程度の低帯域のネットワーク回線しか無く、より低速な地域もある。コスト削減が叫ばれる中、余計な投資などをせずに、現状の環境でも安定したWeb会議を実現できる方法を模索していた。

## LiveOn選定の決め手

## ユーザーの課題を把握し共に課題解決を図る姿勢を評価

我々がベンダーさんに求めるのは、きめ細かな助言やアドバイスなどのアフターフォローの良し悪しだ。当JAの課題を把握し、共に課題解決ができるベンダーさんとお付き合いしたいと考えていた。Web会議システムはさまざまなものが提供されているが、ライセンス販売だけして運用は顧客まかせというところが多い。しかし、JMSと一緒に運用を考えたり、さまざまなフォローをしてくれたりした。LiveOnを採択したのは、JMSのそのような顧客に寄り添う姿勢によるところが大きい。

## 国内生産による高いセキュリティと臨機応変な接続モードが決め手

製品に関しては、まず純国内生産でセキュリティレベルが高いこと、また、多くの拠点が参加しても安定して接続できる「多人数モード」などの機能を有することが採択理由となった。さらに、管理者が遠隔操作によって参加者のフォローができる機能も管理者の負担軽減につながると判断した。

## ご活用用途

## 市町村を交えた遠隔での講演会を初めて開催

テスト期間中に、講演会をLiveOnを使って遠隔で開催したいという話がJA内からあったが我々にはそのような経験やノウハウ等が無かった。JMSさんに相談すると、必要な機材の準備や会議招待などの運営面、技術的なフォローや講演会当日のサポートまで協力してくれた。そこまでやるというのはこのベンダーはやはり少し違うな、というのが最初の印象だった。

## 大小さまざまな会議や講演会など活用用途が広がる

本格運用後は、各事業所担当者が参加する会議や、管理職向け会議はほぼLiveOnで実施。部署間での打ち合わせ時にも頻りに利用している。さらに外部の取引先との打ち合わせにも積極的に活用するようになってきた。また、約20カ所拠点を接続して全職員を対象とした会議や外部講師を招いての講演会などさまざまな形態での活用が広がっている。



愛知東農業協同組合 (JA愛知東)  
総合企画部 企画管理課 課長 河合様

## 導入後の効果・感想

### 無駄な拠点間移動がほぼゼロに

当面の課題であった、拠点間の移動にかかわる無駄を省くことができた。例えば会議のたびに支店間を移動するというような非効率なことはほぼ無くなった。遠距離の拠点もあるので、全体では相当の業務効率化につながっているのではないかと考える。

### 帯域が狭くても安定した状態でWeb会議を開催

導入時に私が拠点に足を運んで実際にLiveOnにつないで映像や音声の状態をチェックし、同時にJMS側で通信速度を測定しながら、画像フレーム数の調整や多人数モードでの接続状態の確認を実施。両者が協力して試行錯誤することで、帯域が狭くても最適な運用ができるような解決策を見つけ出すことができた。これにより余分な投資をせずとも、十分に効果的なWeb会議を実施できる環境が整った。

### 他のWeb会議システムには無いきめ細かなサポート

使用中に不具合が発生した場合、JMSの担当の方に連絡すれば原因を調べてくれる。取引先と新たにLiveOnを使って会議する際にも、通信状況を確認したり、相手方をサポートしたりするなど、導入後もきめ細かなサポートを受けることができています。職員からも、「LiveOnで会議することが時間短縮、業務効率化につながっている」という意見が出てきている。

## LiveOnを活用した今後の事業展開など

### 組合員の方とのコミュニケーション促進や相談業務での利用、職員研修動画配信への活用を検討

管内が広域であり公共交通機関が脆弱なため、組合員が気軽に本店に来ることは難しい。そこで、LiveOnを使って組合員の方とJA本店の役員や管理職などと直接コミュニケーションが取れる場を設けることができないう検討している。また、将来的に点在する支店をブロック化し、拠点となる支店を設置する構想がある。その拠点支店に各業務の専門スタッフを配置して支店間をLiveOnで接続。組合員および利用者からのご相談やご要望等をWeb上で対応する仕組みも考えている。さらに、職員向けに金融関連や防犯関連、コンプライアンス、顧客満足度関連などの研修をしているが、研修に動画を利用したいという声があり、LiveOnで動画配信できないかJMSさんに相談しているところだ。

## 愛知東農業協同組合 (JA愛知東)

設立 : 1993年10月1日

本店所在地 : 愛知県新城市平井字中田6-1

組合員数 : 14,574人 (正: 7,592人、准: 6,982人)

事業内容 : 金融共済事業、営農事業、生活事業、店舗事業、教育文化活動等

地域の特徴 : 愛知県北東部に位置する中山間地域。全面積の80%以上が山林の緑豊かな土地では、昼夜の寒暖差を生かした稲作や畜産を主体とし、イチゴや柿、巨峰などの果樹、トマトやナス、自然薯などの野菜づくりも盛ん。中でも、JA直営店の焼肉レストラン「こんたく長篠」でしか味わえない幻と言われる「鳳来牛」が有名であり、稲作では管内で栽培される「ミネアサヒ」が2020年産米の全国食味ランキングで特Aを取得した。また、トマト部会は第50回日本農業賞にて最優秀賞を受賞した。茶や梅の生産量は県下1位だ。

ホームページ : <https://www.ja-aichihigashi.com/>



ジャパンメディアシステム株式会社

e-mail : [liveon@jm-s.co.jp](mailto:liveon@jm-s.co.jp)

URL : <https://www.jm-s.co.jp/>

本社 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10 第2電波ビル2F  
TEL : 03-3252-8111 FAX : 03-3252-5234

大阪支店 〒540-6122 大阪府大阪市中央区城見2-1-61 ツイン21 MIDタワー22F  
TEL : 06-6947-6800 FAX : 06-6947-6363

名古屋営業所 〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦1-16-20 グリーンビル4F  
TEL : 052-202-1233 FAX : 052-202-1088

仙台営業所 〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町1-5-28 カーニープレイス仙台駅前通6F  
TEL : 022-726-5080 FAX : 022-726-5075

札幌営業所 〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西12-4-78 ウエスト12ビル5F  
TEL : 011-206-1818 FAX : 011-206-1572